

令和7年度
広島大学光り輝き入試
総合型選抜（Ⅱ型）
文学部 人文学科

小論文問題

分野	西洋史学
----	------

令和6年10月12日（土）

自 10時30分

至 12時00分

答案作成上の注意

1. この問題冊子は、監督者から指示があるまで開けてはいけません。
2. この問題冊子は、表紙を含めて2枚、解答用紙は3枚、下書き用紙は1枚です。
解答開始の指示後、直ちに枚数を確認してください。
3. 受験番号は、すべての解答用紙の所定の欄に必ず記入してください。
4. 解答は、すべての解答用紙の所定の場所に記入してください。
5. 解答終了後は、解答用紙を番号順に並べてください。
6. 配付した解答用紙は、持ち帰ってはいけません。
7. 配付した問題冊子及び下書き用紙は、持ち帰ってください。
8. 問題解答時間中は、監督者の指示に従ってください。

総合型選抜（Ⅱ型） 小論文問題

分野	西洋史学
----	------

課題図書について以下の問に答えよ。

- 問Ⅰ 著者は「危機」という言葉をどのように定義しているか。「危険」、「脅威」、「リスク」という言葉との関連において説明せよ。
- 問Ⅱ 著者は住宅の「敷居」の「段差」に着目するが、その理由を「扉」の「内開き」、「外開き」および「サル穴」（ドアを施錠するために金属棒を落とし込む穴）との関係において説明せよ。
- 問Ⅲ アウグストゥス帝の火災に対するクライシスマネジメント(事後処理)について、具体的に説明せよ。
- 問Ⅳ 著者はオスティアのカピトリウムの基壇が不釣り合いに高いことの意味をどのように読み解いたか、説明せよ。
- 問Ⅴ 古代ローマ人はリスク／クライシスマネジメントに対してどのような態度を示したか、著者の使うキーワードを使って説明せよ。